

2006年11月13日

インテル株式会社  
株式会社ヴァイタス

### インテル、ヴァイタス

医療サービスの質の向上と患者にとっての利便性を高める活動に向けて協力  
～ 医療業界初のインテル vPro テクノロジー搭載のベッドサイド端末の普及を推進 ～

インテル株式会社(東京本社:東京都千代田区丸の内 3-1-1、代表取締役共同社長 吉田 和正/ロビー・スウィヌン)と株式会社ヴァイタス(本社:東京都文京区本郷 3-40-10、代表取締役社長 曾根 伸二)は、医療業界の情報インフラを強固にし、患者にとっての情報活用の利便性を高めるため、ベッドサイド端末の普及、ベッドサイド端末を活用した患者へのサービスの質の向上と医療情報電子化ソリューションの普及に向けて、協力することを発表しました。

インテルは、医療情報のデジタル化の必要性を、また、ヴァイタスは、ベッドサイド端末サービスを通じて患者へのサービスの質の向上の必要性を、それぞれ広く、医療業界に訴求しています。現在、ベッドサイド端末の市場は急速な拡大傾向にあり、この点に着目したヴァイタスは、入院患者の視点に立ったサービス提供を積極的に進めています。一方、インテルは、昨年、デジタルヘルス事業部を創設し、本格的に医療業界への参入を開始、ベッドサイド端末を今後の注力分野のひとつと位置づけています。両社の協力関係は、高性能マイクロプロセッサを使用した「インテル® vPro™テクノロジー」の医療業界での普及を目指すインテルと、ベッドサイド端末サービスの拡大を図るヴァイタスの目的が一致したことにより構築されました。この度、インテルは、vPro テクノロジーを採用したベッドサイド端末の仕様を策定し、ヴァイタスに提供しました。

インテル vPro テクノロジーを採用したベッドサイド端末の特長:

インテルvPro テクノロジーの持つ「バーチャライゼーション・テクノロジー」機能と IC カード (Felica カード)との組合せによる新しい認証機能を採用。これにより、キーボード入力することなくアプリケーション・ソフトウェアをスムーズに切り替えることができます。例えば、院内のパソコンの利用に関して、医療スタッフが使用する電子カルテのアプリケーションと、入院患者が利用するアプリケーションを、それぞれの IC カードで管理することができます。

- 高いセキュリティー機能(複数のアプリケーション・ソフトウェアのデータを分離して管理、相互アクセスを禁止)を実現。病院内のイントラネットと、データ収集のためのインターネットのアプリケーションなどを複数立ち上げていてもセキュリティーが保てます。
- インテル vPro テクノロジーの持つ高いリモート管理機能(インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジー)を病院内クライアントのセキュリティー管理に将来的に適用。クライアントのソフトウェアのアップグレード機能などがリモートで行うことが可能になります。

この度、ヴァイタスは、高性能で信頼性のある「インテルvPro テクノロジー」を採用したベッドサイド端末の製造販売を開始することになりました。ヴァイタスの「ベッドサイド情報端末」の広範な供給により、更なる患者へのサービスの質の向上と医療業界全体の情報インフラの効率化を推進していきます。

インテルは、ヴァイタスによるベッドサイド端末の製造販売の開始を歓迎し、販売開始の後、ヴァイタスと協力し、より患者へのサービス向上に貢献する活用方法を広く知らしめるために、導入事例の作成・紹介、医療関係者へ向けたセミナー実施等の支援協力を行います。

医療スタッフと患者は、ヴァイタスのベッドサイド端末のソリューションを活用することで、各種のサービス(インターネット、ビデオ・オンデマンド、電子カルテ閲覧など)を病室のベッドサイドに設置された1台の端末で安全に利用することができ、自分の望む情報を瞬時に取り出すことができるようになります。(病院内に、ベッドサイド端末を使用可能にする、電子化された医療情報を提供するサーバー及びネットワークインフラが設置されている必要があります。)

今回の協力において2社は、医療情報のデジタル化の促進と同時に、患者向けの健康管理サービスの向上と、医療業界におけるビジネスの拡大を目指します。

2社における今後の具体的活動として以下が予定されています。

- 11月 ヴァイタスより、インテル vPro テクノロジー搭載のベッドサイド端末の販売を開始
- 12月 地方の中規模病院に試験導入を予定\*\*
- 1月 大都市圏の大規模病院に試験導入を予定\*\*
- 来春 首都圏の大規模病院に試験導入を予定

\*\*部分導入においては、インテルは、必要に応じてベッドサイド端末のパフォーマンス・チューニングを行ない、更なる高性能化を支援する予定です。

### インテル株式会社について

シリコンの技術革新で世界をリードするインテルは、人々の仕事と生活をさらに豊かにする先進的な技術と製品を開発、イニシアティブを推進していきます。インテルに関する情報は、<http://www.intel.co.jp> で入手できます。

### 株式会社ヴァイタスについて

ベッドサイド情報端末サービスで市場をリードするヴァイタスは、自社のサービスを通じて患者・医療機関・地域社会に貢献してゆきます。ヴァイタスに関する情報は、<http://www.vitas.biz> で入手できます。

以上

ベッドサイド端末は、ヴァイタスにより企画・開発・製造及び販売されるものです。ベッドサイド端末の製品情報(「ベッドサイド情報端末」)及びベッドサイド端末のソリューションの活用についてはヴァイタスにお問い合わせください。

特定の目的に本製品を使用する場合、適合性の評価についてはお客様の責任になります。

本資料で言及されているインテルテクノロジーは、一般的な商業目的にのみ使用されることを前提にしています。インテルのテクノロジーは、医療、救命、延命措置、重要な制御または安全システム、核施設などの目的に使用することを前提としたものではありません。

インテル® vPro™ テクノロジーを搭載した PC には、インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジー(インテル® AMT) とインテル® バーチャライゼーション・テクノロジー(インテル® VT)が組み込まれています。インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーを利用するには、インテル® AMT に対応したチップセット、ネットワーク・ハードウェア、ソフトウェアを搭載したコンピューターが必要です。システムは電源コンセントおよび LAN に接続されていることが必要です。インテル® バーチャライゼーション・テクノロジーを利用するには、同テクノロジーに対応したインテル プロセッサー、BIOS、バーチャル・マシン・モニター(VMM)、および、用途により、同テクノロジーが有効になっている特定のプラットフォーム・ソフトウェアを搭載したコンピューター・システムが必要です。機能性、性能もしくはその他の特長は、ご使用のハードウェアやソフトウェアの構成によって異なり、BIOS のアップデートが必要になることもあります。ご利用になる OS によっては、ソフトウェア・アプリケーションとの互換性がない場合があります。ヴァイタスの「ベッドサイド情報端末」の詳細については、ヴァイタスにお問い合わせください。

\* インテル、vProは、米国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。

